

皆さまの声をまちづくりに

令和6年度

まちづくり会議



ひとと自然の共生

きらめく田園と交流のまち ながぬま

# 日程

挨拶

/長沼町長 齋藤良彦

長沼町の財政状況について (P2~3) /総務財政課

長沼町総合振興計画について (P4~12) /政策推進課

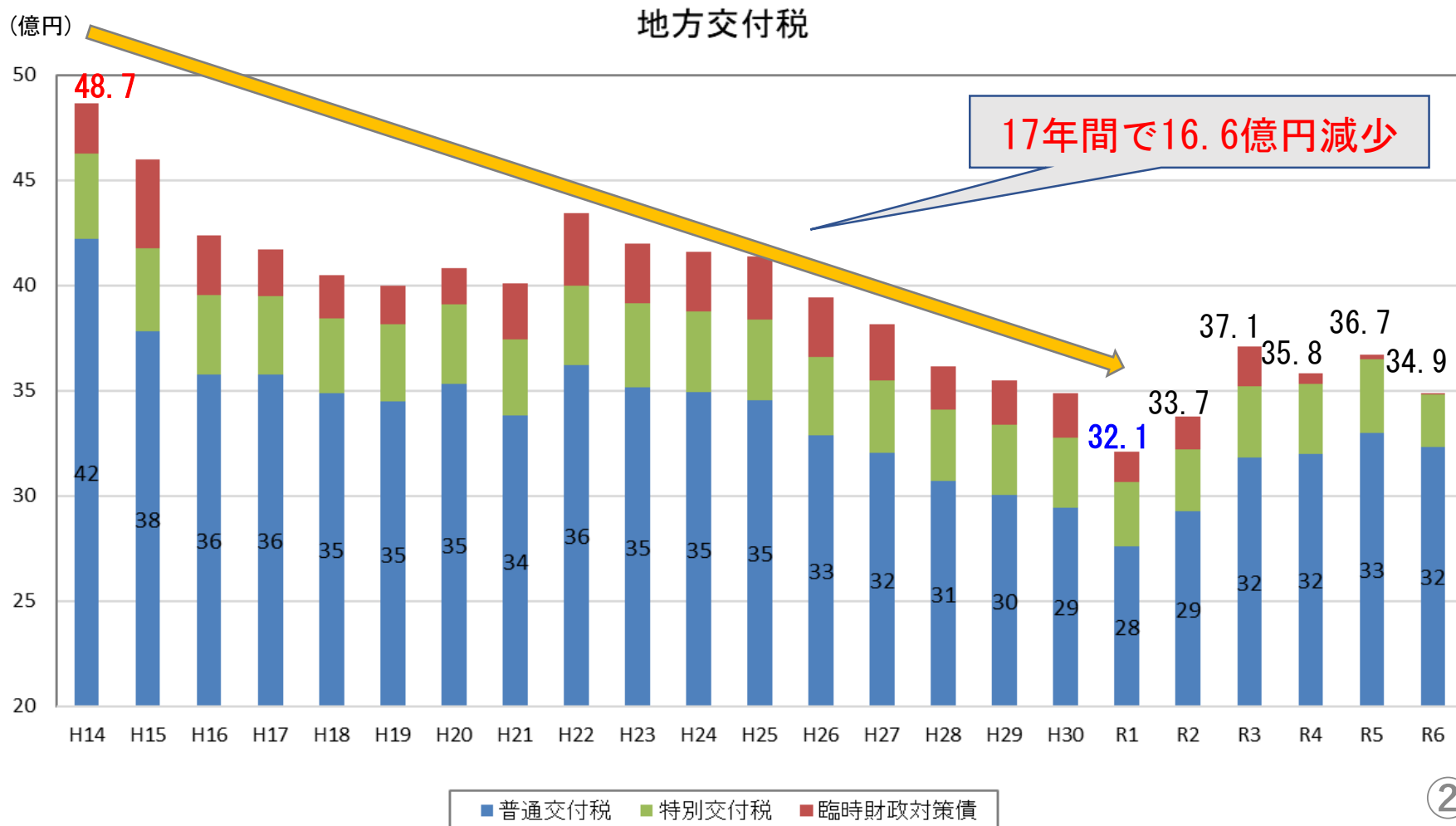
町立長沼病院について (P13~15) /町立長沼病院

質問・提言・意見交換など (P16)

皆さまからご発言いただきます

# 地方交付税の推移

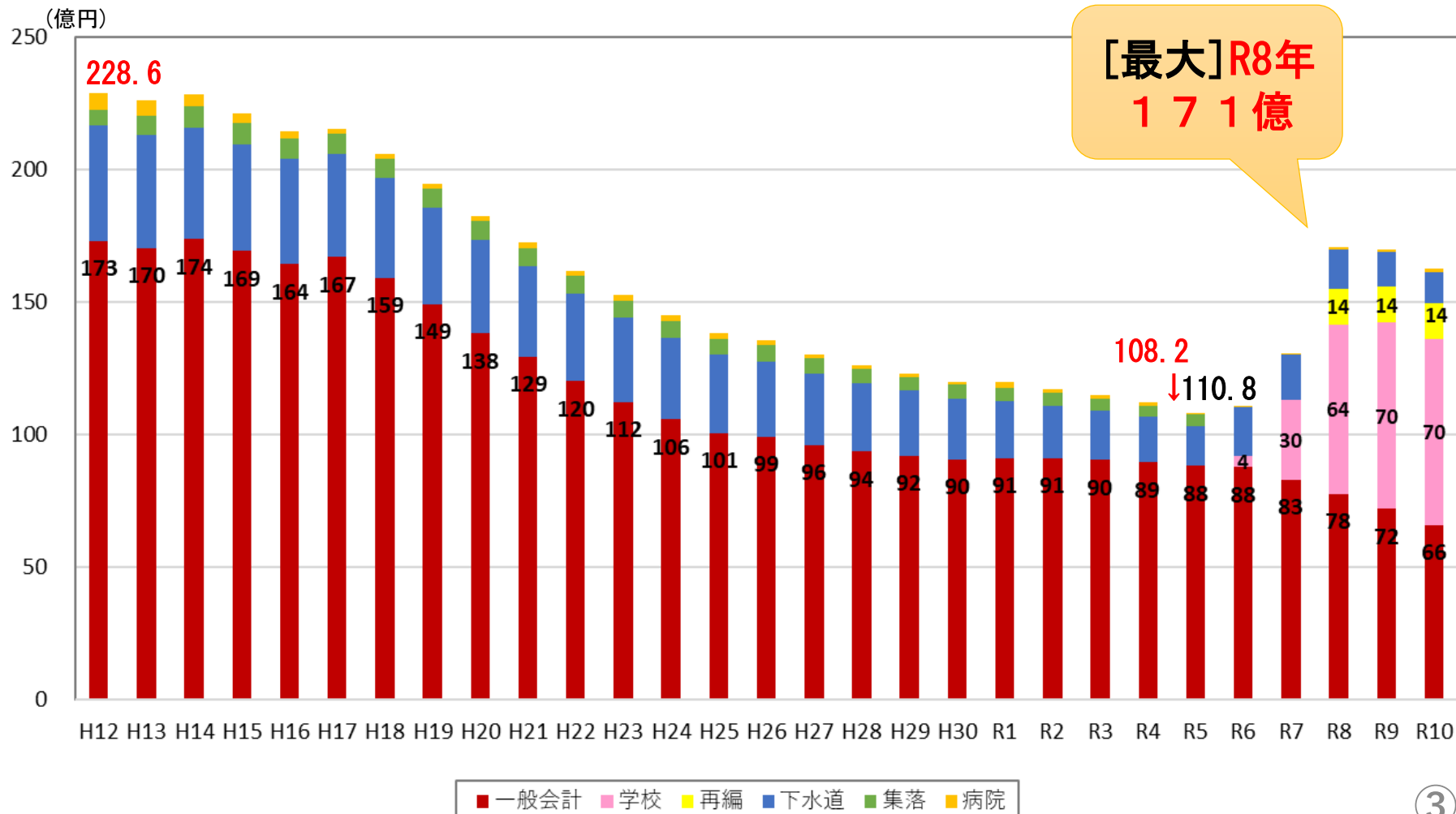
- ピークのH14年48.7億円→最小のR1年32.1億円（17年間で16.6億円も減少）
- R2年には10年ぶりの増加も、物価高騰や社会保障費の増加により、今後の動向は不透明
- 最小のR1年には、約3億5千万円もの予算不足が発生し、基金（貯金）を取崩し穴埋め



# 起債残高の推移（町の借金）

○シミュレーションによると。R8年度末にピークを迎え、起債残高は171億円となる見込。

起債残高の推移（年度末）



# 長沼町総合振興計画

条例議決～基本構想（令和3年～10年）

公開～基本計画

【前期】令和3年～6年

【後期】令和7年～10年（※策定作業）

1月にパブリックコメント実施予定

※施政方針～総合振興計画の7つの基本施策に基づき策定

# 1 安全安心で快適に暮らせるまち

## 【要旨】

国営事業を積極的に行いながら有効な土地利用を

## (具体事業)

農業基盤整備、**高規格道路**、**河川改修**、**立地適正化計画**など  
民間バス事業者の維持、**デマンドバス交通**、**街路灯LED化**、**橋梁・公営住宅長寿命化**など  
DX推進、**防災対策**など

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



11 住み続けられる  
まちづくりを



13 気候変動に  
具体的な対策を



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



## 2 ひとと自然が共生する美しいまち

### 【要旨】

馬追丘陵、平地の農村、市街地をそれぞれの美しい景観形成に努める

### (具体事業)

タンチョウも住めるまちづくり、景観条例の推進、**カーボンニュートラルの推進**、ゴミのリサイクル、**長沼ふるさと学の充実**など



### 3 ひとにやさしく健康に暮らせるまち

#### 【要旨】

## 社会福祉や子育て支援の充実

#### (具体事業)

児童の医療費無償化、**町立病院のダウンサイジング**、**こども家庭センター**、障がい・福祉の充実、QOL向上の取組など





## 4 地域産業で活力を生み出すまち

### 【要旨】

農業、工業、商業、林業の推進。観光レクの振興で関係人口の増加

### (具体事業)

担い手育成やスマート農業の推進

グリツリ事業の推進

道央圏連絡道路を活かした半導体関連産業などの企業立地の推進

夕やけ市への支援や中小企業への経営安定化

企業誘致の推進、コミュニティ公園の再編整備

2 飢餓を  
ゼロに



8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



15 陸の豊かさも  
守ろう



## 5 多様なひとと文化を育むまち

### 【要旨】

### 生涯学習の推進、学校教育の小中一貫化

#### (具体事業)

義務教育の充実(誰一人取り残すことのない教育の実現)

コミスクによる地域とともにある学校づくり

長沼高校への支援

校舎一体型義務教育学校の建設など



## 6 健全な行政運営で活気あふれるまち

### 【要旨】

効果的、効率的な行政運営。PDCAサイクルによる業務の可視化。民間活力の導入と広域自治体連携

### (具体事業)

指定管理者制度など民間活力の積極的活用

男女共同参画の推進

広報・広聴活動。まちづくり会議、出前講座、地域担当職員など

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



# 7 ひとが集まり持続可能なまち

## 【要旨】

関係人口の創出と定住促進。広域圏域の形成  
コミュニティ活動の活性化

## (具体事業)

町民提案事業、花いっぱい運動、姉妹都市・友好親善宣言都市との交流  
さっぽろ連携中枢都市圏、**南空知定住自立圏**など

8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



11 住み続けられる  
まちづくりを



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



# ○町民アンケート調査結果

・配布数 4,523 回収数 1,020  
(郵送852、Web168)

(内容抜粋)

- ・「住みよい」など肯定的意見74.8%(前回比較3.4ポイント減)
- ・「暮らしたい」66.2%→「**転出したい**」12.2%(**医療・福祉が不安**)など
- ・定住促進→公共交通充実「44.9%」、「企業誘致」44.3%
- ・満足度→生活インフラ整備やゴミ処理(高い)、交通網や生活道路(低い)  
※減少率大きい→行政の情報提供や情報公開
- ・重要度→**地域医療**、生活道路、バス(高い)、公園、グリツリ、景観(低い)  
※上昇率大きい→行政運営、景観配慮、道路整備
- ・将来展望→**福祉・医療の充実**、交通網の充実  
※安心で安全な そして便利なまちづくり

# 町立長沼病院及び老健いこいの収支状況

## ○町立長沼病院事業会計 年度別決算

(単位:千円)

※税込

項 目		R元	R2	R3	R4	R5
収益的収支と 資本的収支の合算	収益・収入	1,163,121	1,047,370	1,003,876	911,112	861,451
	費用・支出	1,177,053	1,053,975	1,008,991	915,722	870,591
収益不足を補填した一般会計繰入額		192,000	155,000	174,000	288,151	333,810

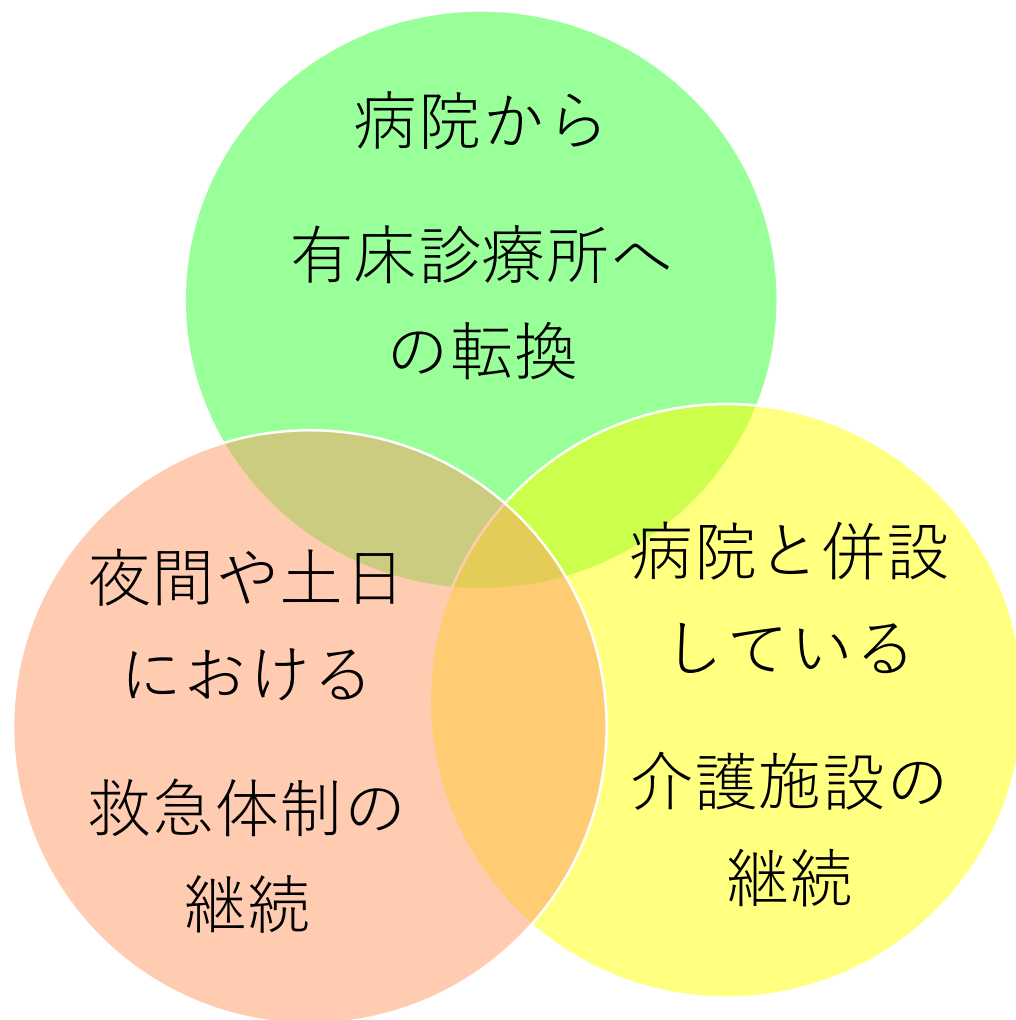
## ○老健施設いこい特別会計 年度別決算

(単位:千円)

項 目		R元	R2	R3	R4	R5
歳 入		339,912	345,006	335,184	325,155	307,925
歳 出		332,435	337,705	327,043	323,893	307,684
歳入不足を補填し た繰入額	老健財政調整基金				30,700	2,000
	老健施設整備基金					3,300
	一般会計繰入金					18,000

令和4年から5年にかけて町立長沼病院等運営審議会へ町立長沼病院の今後のあり方を諮問し、答申をいただいた。

•令和4年12月に町立長沼病院等運営審議会へ町立病院事業に関する病床数の見直しを含めた病院の維持または診療所への転換について諮問を行い、令和5年2月に同審議会から答申がなされ、「今後のあり方を考える上では、19床規模の有床診療所とすることが適当である。」夜間や土日の救急体制の継続、介護施設との連携継続を踏まえた建て替えを求めるといった内容であった。



# 町立長沼病院経営強化プランR5年～R9年

## 国からの要請内容

### 第1 公立病院経営強化の必要性

- 公立病院は、これまで再編・ネットワーク化、経営形態の見直しなどに取り組んできたが、医師・看護師等の不足、人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等により、依然として、持続可能な経営を確保しきれない病院も多いのが実態。
- コロナ対応に公立病院が中核的な役割を果たし、感染症拡大時の対応における公立病院の役割の重要性が改めて認識されるとともに、病院間の役割分担の明確化・最適化や医師・看護師等の確保などの取組を平時から進めておく必要性が浮き彫りとなった。
- 今後、医師の時間外労働規制への対応も迫られるなど、さらに厳しい状況が見込まれる。
- 持続可能な地域医療提供体制を確保するため、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点を最も重視し、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点も持って、公立病院の経営を強化していくことが重要。

### 第2 本経営強化プランの内容

- 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。
- 基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、連携を強化することが重要。
- 医師・看護師等の確保

### 第3 経営形態の方向性

- 当該役割・機能を将来にわたって持続可能なものとする観点から、病床数を削減することが適当であり、令和8～9年度には19床の有床診療所へ転換することが最も有効であると判断、ダウンサイジングを実施し、現在の診療科を保持した中で、町立の診療所への転換、当院と併設している介護療養型老人保健施設いこい及び救急医療体制についても継続。
- 病床規模の縮小により一定の余剰人員数が発生することが想定されるため、それらの人員については、地域ニーズを考慮し、適切な体制を構築することを検討。
- 現在の建物の建て替えについては本計画期間中に検討。



誰もが幸せを実感できる「まちづくり」  
安定、幸福、そして挑戦！！

本日は一緒に「まち」を  
語り合いましょう！

長沼町長 齋藤 良彦